

降下ばいじん、加古川製鉄所 自主管理目標値（環境対策効果の予測値）
未達成について

1. 7月度の降下ばいじん実績について

加古川製鉄所では、08年4月から粉じん対策の効果を確認するため、降下ばいじんに関して製鉄所影響値3.0t/km²/月以下（対象測定地点：加古川神鋼ビル、別府小学校、尾上小学校の3箇所）の自主管理目標値（環境対策効果の予測値）を設定し、その達成に注力してまいりました。

10年度8月の自主管理目標値超過以降、種々の対策を実施し、それ以降、目標値を下回る実績を挙げてきましたが、7月の加古川神鋼ビルの測定値が自主管理目標値未達成となりましたので、その内容について以下に報告させていただきます。

地域住民の皆様には大変ご迷惑・ご心配をお掛けすることとなりましたことを、深くお詫び申し上げます。

<降下ばいじん 製鉄所影響値 実績推移>

測定地点	単位	4月	5月	6月	7月
加古川神鋼ビル	t/km ² /月	1.57	2.12	2.24	3.21
別府小学校	"	1.47	1.79	1.78	1.13
尾上小学校	"	0.85	1.04	0.68	0.64

（出所：加古川市測定データ）

2. 加古川神鋼ビル未達成の原因について

<加古川神鋼ビル 成分比較>

成分項目	単位	11年7月	12年7月	13年7月
鉄分量	t/km ² /月	0.91	0.40	1.70
強熱減量（コークス・石炭・植物等）	"	0.62	0.61	0.44
その他（土砂成分等）	"	1.04	0.50	1.07
合計（製鉄所影響値）	"	2.57	1.51	3.21

（出所：加古川市測定データ）

過去2年間の7月度測定値との比較では、鉄分量が増加しており、分析結果より焼結粉じんが増加したことが判明いたしました。

パトロール強化の結果、7月上旬に焼結工場において設備からの粉じん吹き出しを発見しており、6月下旬の南風頻度増加時に飛散したと推定しています。

吹き出しを確認以降、吹き出し低減対策および散水強化を実施しており、8月の数値は通常レベルに低下（当社自主測定）しております。

今後、吹き出し監視強化等を図り、これまで実施してきた種々の対策の継続と併せ、目標値の安定達成に努めてまいります。

3. 尾上善則 専務執行役員 加古川製鉄所長 コメント

これまで実施してきた各種粉じん対策により、一定の効果を挙げ、一昨年、昨年と自主管理目標値を達成してまいりました。本年度も対策維持継続に気を抜くことなく取り組んできましたが、7月において自主管理目標値を超過させてしまいました。大変申し訳なく、深くお詫び申し上げます。増加要因に対する対策を確実に実行していくことで、安定して目標値を達成するべく注力して参ります。

以上